

○地域商業ウィズコロナ対策支援事業費補助事業等を活用した取組事例 〈旭川市商店街振興組合連合会及び緑橋ビル商店街振興組合（旭川市）〉

■連合会の概要

旭川市商店街振興組合連合会は、昭和42年に設立。4商店街振興組合及び2商店会、2企業で構成されている。街路灯の設備といった「ハード整備」や年末の売り出し、イベントといった「ソフト事業」を行い、まちの顔として役割の発信に努めている。

これまで各振興組合ではそれぞれ事務局を設置しているため、合同でのイベント開催等はなく、独自に事業活動を行ってきた。

同ビル内にある緑橋ビル商店街振興組合では、コロナの影響で催し物は全て中止する方針であったが、各店の売り上げの落ち込みが厳しく、商店街を少しでも元気づけるために、商店街独自の商品券を発行した。



〔緑橋ビル商店街〕

■商品券発行について（緑橋ビル商店街振興組合単独事業）

新型コロナウイルス感染症影響により、各店の売り上げが落ち込み、中心部でのイベントも軒並み中止となる中で、「コロナ禍でもお客様に元気を発信していきたい」と構成員35店舗で利用出来るプレミアム率20%の商品券を独自で発行した。各店にはアルコール消毒液を設置、のぼりには「新・緑橋スタイル実践中」と書かれ、感染防止対策を徹底し

■補助金の活用

令和2年度においては、商店街への来街者及び売上げの増加を図るため、道の補助金「商店街域内消費喚起事業費補助金」を活用し、全加盟4組合員「旭川銀座商店街振興組合」「旭橋みずほ通商店街振興組合」「緑橋ビル商店街振興組合」「旭川平和通商店街振興組合」及び2賛助会員「博物館通り商店会、近文商工振興会」が一体となった共同販売セール「大感謝祭」を開催した。

来街を促すために、全加盟店が一体となり北海道スタイルに沿った安心・安全な商店街を広く周知、PR効果や話題性を高めるために、開催時期を年末年始になるように長期間での開催とした。

利用客に一回あたり500円以上の利用で応募券を配布し、抽選会を開催。景品には、市振連オリジナルエコバッグやお米、そばなど地元農畜産物を提供した。エコバッグは大変好評をいただき、イベント開催後も販売を希望する声が多かった。



〔販促チラシ〕

また、「中小・小規模事業者感染予防対策等緊急支援事業」を活用し、全加盟組合員が一体となって感染予防の意識を高め、安心・安

全て健康的な商店街づくりへの取組と周知のための北海道スタイル周知ポスター・フラッグを全組合員に配付した。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大で大きな影響を受けている商店街の活性化への足掛かりとするため、組合員194店にマスクやアルコール消毒液などの衛生消耗品を提供した。

旭川市の「地域振興支援品提供事業」も併せて活用し、地域商店街の賑わいを取り戻し、売上げ向上に繋がる地域イベント等を実施し、新型コロナウイルスに負けない、元気な街を取り戻す取組みを実現させた。



〔商店街大感謝祭チラシ〕

■緑橋ビル商店街の出店状況について

近年、若年層に人気の店舗が出店しているため、若者の利用が増加傾向にある。

コロナ禍において3店舗の新規出店があった。パン屋及び飲食店が新しい取組みとして、テイクアウト専門店を2号店としてオープンさせた。

今後も感染予防を行いつつ、様々な工夫がなされた事業展開を期待している。

■現状と今後の展開

各店舗において、マスクの着用やアルコール消毒等、基本的な感染予防対策を徹底しながら、販促イベントを企画していく。

市内において、電子マネーが徐々に普及しているが、商店街においては事業者が高齢のため、利用はほとんどない。今後は、多くの店舗が導入できるよう、操作説明会や講習等を開催し、電子マネーの導入について検討を進めていきたい。

全加盟組合員が参加して実施した「商店街大感謝祭」のようなイベントを実施していきたいが、景品の予算、ポスター等の事務費など、資金面で問題をかかえている。

今後も道及び市の補助金を効果的に活用しながら、地域で連携したイベント等を開催し、地元の特産品等を景品にするなど、地域の方達と商店街と地域経済の活性化に繋げていきたい。



〔緑橋ビル商店街 歳末感謝祭〕

取材先	■旭川市商店街振興組合連合会（旭川市3条通8丁目緑橋ビル2号館3F） TEL：0166-23-7404
	■緑橋ビル商店街振興組合（旭川市3条通8丁目 緑橋ビル1号館2階） TEL：0166-23-4741